施策事例の紹介

① 人の流れづくり

移住者や交流人口（美波町のコアなファン）を増やすため、様々な取り組みが行われている美波町。その中の一つが、サテライトオフィス企業の誘致です。現在、町内には県内最多の 20 社が進出しており、「新しい働き方」の先進地として全国的に注目されています。また、二地域居住・地方移住の促進を目的に徳島県が推進するデュアルスクール事業（他拠点就学制度）の受け入れも積極的に実施。新しい学びのカタチとして多くのメディアに取り上げられるようになりました。

② 仕事づくり

町の基幹産業の一つである漁業では、後継者不足などの課題に対処し、「稼げる漁業」の確立に向けた取り組みが続けられています。2021 年 1 月には、志和岐、東由岐、西由岐の 3 漁協が合併し、「由岐漁業協同組合」が発足。漁協運営の効率化や魚価向上などを目指し、一致団結して取り組む体制づくりが進んでいます。また、「美波の海の恵み研究会」をはじめとする地域の任意団体も活発に活動しており、地域住民が一丸となって、地場産業の活性化を推進しています。

③ 子育て環境づくり

美波らしい子育て環境づくりの一環として、町内の小中学校では様々な地域学習が行われています。由岐小学校では、「水に賢い子どもを育む年間活動プログラム（水プロ）」が毎年行われ、子供たちが磯生物の生態や地域環境について学習しています。日和佐小学校では、町内のサテライトオフィス企業を講師に招き、デザインについて学ぶ授業なども実施されました。美波町の特色を生かした学習体験を通じ、「美波が大好きな子供たち」を育んでいきます。

④ 住み良い地域づくり

個性をいかしたまちづくりを目指し、地域特性に応じた移住・交流の取り組みも町内各地で行われています。伊座利では、「おいでよ海の学校（1 日漁村体験イベント）」の実施や「伊座利カフェ」の運営などが行われ、毎年多くの移住希望者が同地区を訪れています。赤松では、地域の伝統行事である「吹筒花火」の文化を守るとともに、全国伝統花火サミットも開催。全国各地の伝統花火団体との交流も積極的に行われています。

お知らせ： 美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！
日和佐地区：日和佐図書・資料館 1 階　/　由岐地区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン 2 階）